

令和5年度

第1回総合型選抜

小論文

(80分)

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を含めて3ページあります。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・汚れ、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 問題冊子・解答用紙・下書き用紙の定められた欄に、**氏名と受験番号を監督員の指示に従って記入してください。**
5. 解答は、解答用紙の定められたところに記入してください。
6. 色付き紙1枚は下書き用紙です。下書き用紙に書かれたものは、採点の対象とはしません。
7. 問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ってください。

氏名		受験番号						
----	--	------	--	--	--	--	--	--

問 題

以下の文章は、認知科学者の D. A. ノーマンが自身の著書でテクノロジー（＝科学技術）と我々の身の回りにある道具や機器との関係について述べたものの一部抜粋である．

（この部分は、著作権の都合上、公開できません。）

出典：＜著＞D. A. ノーマン、＜訳＞岡本明ほか『誰のためのデザイン？ 増補・改訂版 認知科学者のデザイン原論』（新曜社）

前頁の文章を読んで以下の問に答えなさい。なお、回答は（１）と（２）をあわせて 800 字を超えないようにしなさい。

- （１）テクノロジーが「暮らしを複雑怪奇なものにしてしまう」原因としてはどのようなことが考えられるか、先の文章を踏まえて述べなさい。
- （２）新しいテクノロジーによって「これまでよりも豊かな恩恵」を与えると同時に「テクノロジーについての困難と欲求不満」を増やしたといえる道具・機器の例を 1 つ挙げ、それがどのような恩恵と困難・欲求不満をもたらしたか説明しなさい。また、例に挙げた道具・機器は、「我々の生活をより簡便で、楽しいものにする」という観点で成功といえるか失敗といえるか、理由とともにあなたの意見を述べなさい。